

要望項目第1号

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の早期整備について

全商工会議所 共同提案

わが国の最西端に位置している長崎県にとって、高速交通網の基軸である新幹線の建設は、県勢浮揚のために不可欠のものであり、これまで、官民挙げて、その実現を目指し建設推進運動を展開して参りました。

県ご当局におかれましては、県政の最重要課題としてこれまで積極的に取り組んでいただき、お蔭をもちまして、平成20年4月に武雄温泉～諫早間が着工されました事は誠に喜ばしく、県ご当局のご労苦に敬意を表するとともに感謝申し上げる次第であります。

しかし、新幹線の建設効果を最大限に生かすためには長崎までの延伸が不可欠であり、その早期認可が待たれているところであります。

つきましては、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が一日も早く実現を見ますように、下記事項について引き続き、特段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 諫早～長崎間の早期認可・着工及び長崎駅部整備並びにJR長崎本線（長崎駅周辺）連続立体交差事業の早期整備
2. JR佐世保線等の輸送改善（フリーゲージトレイン導入の推進）
3. 肥前山口～武雄温泉間の複線化等改良の早期実現

要望項目第2号

中小企業対策の充実について

全商工会議所 共同提案

長崎県内経済は、大手造船が高操業を続けているものの公共投資や民間設備投資あるいは、個人消費の低迷が続くなど、景気の先行きは依然厳しい状況にあります。

こうした中で、多くの中小企業は生き残りをかけて懸命の企業努力を続けておりますが、地域経済の担い手である中小企業が活力を取り戻し、独自の創造性や機動性を発揮できる経営環境の整備・充実が強く望まれるところであります。

つきましては、中小企業の置かれている厳しい現状をご理解いただき、下記事項の実現方について特段のご高配をお願い致します。

記

1. 中小企業に充分配慮した中小企業対策事業の予算の確保・拡充
経営環境が厳しい中小企業に対する緊急融資制度の再創設など、資金繰り対策の強化・拡充
2. 小規模事業対策のより一層の拡充・強化
経営指導員等補助対象職員の人件費を含む小規模事業経営支援事業費補助金の十分な確保・拡充
3. 中小企業再生のための支援策の拡充
中小企業再生支援の実効性をあげるための県の支援と連携の強化及び特別融資制度の更なる拡充
4. 中心市街地・商店街等の活性化対策の拡充
魅力ある商業集積として商店街等を整備するための活性化対策事業の支援対策の拡充
5. 各種補助金・助成金制度の手続き等の簡素化

要望項目第3号

観光振興について

全商工会議所 共同提案

長崎県は、県内全域に多くの観光資源を有しており、これまで数多くの観光客が来県するなど、全国でも屈指の観光地として評価されてまいりました。

しかしながら、近年、国内外の観光地との競争激化、旅行形態の多様化などの事由に加え、昨年から世界的な景気悪化等により、本県を訪れる国内外からの観光客の数は減少している状況にあります。

長崎県におかれましては、観光を本県の基幹産業に位置づけた観光振興施策を積極的に推進して頂いているところですが、観光需要の回復による一層の観光振興を図るため、下記項目について特段のご尽力をお願い申し上げます。

記

1. 長崎の教会群とキリスト教関連遺産並びに九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録促進
2. 近代化産業遺産をはじめとして観光資源となりうる地域資源の整備・保全・活用
3. 体験型観光、滞在型観光の促進・支援
4. コンベンション機能を有する大型多目的交流施設の早期建設及び大型会議、学会等の誘致促進
5. 外国人旅行者に対するインフォメーションや案内板等の整備
6. 大河ドラマ「龍馬伝」を活用した長崎県PR事業の取り組み強化

要望項目第4号

製造業の振興について

全商工会議所 共同提案

わが国の基幹産業である製造業においては、優れた技術を培った中小企業の存在が競争力の源泉として重要な役割を担っております。

しかしながら、近年、企業間の取引は「系列」、「下請」といった従来の長期的・安定的取引から、多面的で柔軟な取引関係へと変化してきております。

このような中、県内の中小製造業は市場ニーズの把握に努めるとともに、新技術や高付加価値製品の開発等による競争力の強化に積極的に取り組んでおりますが、資金・人材・情報等の経営資源に乏しく十分な成果を得ることができずしております。

つきましては、県ご当局の強力な支援措置が継続的に講じられることを強く望むものであり、特に下記の事項について、格段のご配慮をお願い申し上げます。

記

1. 新技術・新製品開発、新分野進出等の新たな事業展開に対する各種支援措置の更なる拡充
2. 県産技術及び県産製品の県内外への販路を拡大するための営業力強化に対する更なる支援強化
3. 県産技術及び県産製品の行政機関における積極的かつ継続的採用
4. 誘致企業と既存企業のマッチング推進および既存企業の取引拡大につながる可能性の高い企業誘致策の推進
5. 企業の人材育成・技術承継、並びに技術系新卒者の県内定着に向けた一層の支援
6. 既存企業の事業拡大等への積極的かつ継続的支援

要望項目第5号

高規格幹線道路網等の整備促進について

全商工会議所 共同提案

長崎県の動脈として地域内全住民がその早期完成を熱望している西九州自動車道の一日も早い全線開通と、九州横断自動車道の4車線化の早期実現等を目指しご尽力を賜っておりますが、下記につきまして更なる推進を図って頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 西九州自動車道 佐々佐世保道路（佐世保IC～佐々IC）の早期完成
2. 西九州自動車道 松浦～佐々間（松浦IC～江迎町～佐々IC）の早期事業化及び平戸インター、江迎鹿町インターの設置
3. 西九州自動車道 伊万里松浦道路（伊万里市～松浦市）の早期完成
4. 九州横断自動車道「長崎IC～長崎多良見IC」の4車線化の早期着工
5. 長崎外環状線田上IC～新戸町ICの早期完成および新戸町IC～柳田IC間の整備促進

要望項目第6号

県北地域道路網の整備促進について

佐世保商工会議所
北松商工会議所
平戸商工会議所
松浦商工会議所
共同提案

九州横断自動車道・長崎自動車道の開通により、県北地域も西九州自動車道・武雄佐世保道路を経て全国の高速道路網に連結され、ハイウェイ時代を迎え久しくなります。

しかしながら、高速道路に連結するアクセス道路並びに周辺道路の整備は、地理的条件とも相まって遅れているのが現状であり、県北地域の産業・観光・文化の交流発展を図る上で最も喫緊な課題であります。

つきましては、旧産炭地を抱え、過疎化の進む県北地域の活性化を図るため、下記道路の整備促進につきまして格別の御高配を賜りますよう要望致します。

記

1. 国道の整備促進

- (1) 地域高規格道路（東彼杵道路）の計画路線への指定
- (2) 国道205号の整備促進（針尾バイパスの整備促進）
- (3) 国道204号線のバイパスの事業化
- (4) 国道383号線（平戸～志々伎（しじき））の整備促進

2. 県道の整備促進

- (1) 早岐瀬戸架橋（第2期工事）の整備促進
- (2) 一般県道俵ヶ浦日野線（船越～下船越間）の整備促進
- (3) 主要地方道「佐世保・吉井・松浦線」子産坂トンネル～庄野間の道路改良整備の促進
および大渡バイパス（仮称）の整備促進
- (4) 主要地方道「佐世保・日野・松浦線」（椋呂路峠～長坂間の道路改良整備の促進）
- (5) 県道19号線（志々伎（しじき）～宮の浦）の整備促進

要望項目第7号

県央地域道路網の整備促進について

諫早商工会議所
大村商工会議所
共同提案

県央地域は、長崎空港や九州横断自動車道へのアクセス拠点として、また、主要幹線が集中する県交通網の中核として、重要な役割を果たしているところではありますが、こうした中、現在、県において推進されている県内2時間交通圏構想を実現していくためにも、交通量の増大に伴う当地域内の慢性的な交通渋滞を早急に解消することが大きな課題であります。

特に諫早市本野交差点三叉路付近は、長崎空港や大村市中心部と諫早市を結ぶ国道34号の中にあって交通渋滞が日常化しており、整備中の他の路線の効果を高めるためにも改良が要求されるようですが、まだようやく調査に入った段階であり、早急に着手していただくことが必要だと考えます。

つきましては、幹線道路の交通渋滞を解消するとともに、長崎空港及び九州横断自動車道へのアクセス道路としての機能を早期に整備するために、下記道路の整備について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 国道34号諫早市下大渡野町から大村市久原までの拡幅改良の早期着手
2. 国道34号諫早市本野交差点三叉路の交通渋滞緩和のための改良整備
3. 国道34号諫早北バイパスの4車線拡幅の早期着手
4. 都市計画道路「久原池田線」及び「池田沖田線」の早期完成
5. 国道207号の根本的な改良整備
6. 国道57号諫早市小野町から雲仙市愛野町までの区間の早期整備

要望項目第8号

地域高規格道路・有明海沿岸道路の延伸区間（鹿島市～太良町～諫早市） の候補路線への早期指定について

諫早商工会議所
島原商工会議所
共同提案

有明海沿岸道路は、平成6年12月に大牟田市～鹿島市間の約55kmを地域高規格道路に指定、その後、平成9年には全線調査区間に指定されており、現在、夫々の工事区間において用地買収・環境アセスメント等、所要の手続き等が進められており、一部区間においては既に開通し着実に遂行いたしております。

有明海沿岸道路は、有明海を囲む4県の今後の経済活性化には必要不可欠な交流推進型広域道路であり、域内拠点と有機的に結ぶ循環型ネットワークの形成を図るうえからも、非常に重要な役割を果たすものと期待されております。

有明海沿岸道路による有機的循環型ネットワーク形成のためには、現在空白地帯となっている「鹿島市～太良町～諫早市間」の早期整備が不可欠であり、本区間が、整備されることにより、九州横断自動車道、長崎空港、佐賀空港などの交流・物流拠点へのアクセスが向上し、島原半島の地域高規格道路とも連結され、真に有明海を囲む環状高速交通ネットワークが形成されます。

つきましては、「鹿島市～太良町～諫早市間」の有明海沿岸道路延伸区間として候補路線指定および事業調査区間指定につきまして、早急なご対応を賜われますよう特段のご高配をお願い申し上げます。

要望項目第9号

島原半島活性化対策としての地域高規格道路の 早期建設について

島原商工会議所 提案

島原半島における地域高規格道路の早期建設要望につきましては、長年の要望活動の結果、実現に向かって進みつつあり、関係皆様方のご尽力に深く感謝申し上げます。

島原半島の発展は、県内外間の交流の活発化を促す規格の高い地域に密着した道路網の整備で、九州新幹線西九州ルート建設着工による観光誘致・県央地域の第三次救急医療施設との連携による半島内緊急医療体制支援のための道路として、又、全国総合開発計画に明記されている島原・天草・長島架橋のアクセス道路としても重要な機能を備え持つものであります。

現在、諫早市から深江町までの延長50キロメートルが「計画路線」として指定を受け、逐次整備を図っていただいておりますが、さらに地域高規格道路「島原道路」（島原市出平町―愛野町間）を調査区間指定にさせていただきますようお願い致しますとともに、一日も早い完成のために格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

空港機能の整備促進について

全商工会議所 共同提案

県ご当局において策定されました「長崎県長期総合計画」によりますと、総合交通ネットワークの充実と国際交流の推進に向けて、長崎空港を拠点とする航空網の拡充・整備が重点施策として位置づけられております。

我が国初の海上空港として昭和50年に開港いたしました長崎空港は、本県の空の玄関口として重要な役割を担っています。

この長崎空港のさらなる発展には、海上空港としての優位性を活かし、空港機能並びに国際・国内航空路線網等の整備拡充をさらに推進する必要があります。

また、福江空港をはじめとする離島空港施設の整備促進や就航率の向上は、離島住民の生活向上、経済活動の円滑化のためにも極めて重要であります。

よって、長崎空港をはじめとする県内各空港の機能整備と路線網の拡充を進めていただきますよう要望申し上げますとともに、特に下記事項につきましては特段のご高配とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 国際・国内航空路線の整備拡充
2. 離島航空路線の維持存続
3. 長崎空港の機能強化と運用時間の延長
4. 長崎空港利用促進対策の推進

要望項目第 11 号

港湾機能の整備促進について

全商工会議所 共同提案

アジアの急激な経済発展を背景として、わが国はもとより、東アジア地域における物流は大きな転換期を迎えております。

こうした中、東アジア地域に地理的に近い長崎県においても、貨物の多様化が予想されており、県内各港湾がアジアの物流拠点として、また、国内・県内の中継基地としての役割を果たすためにも、港湾施設の機能整備が急務であると考えます。

つきましては、港湾整備計画事業費の確保とともに、長崎県内地域発展の基盤となる下記各港湾施設の機能整備等について、早急な措置を講じてくださいますようお願い申し上げます。

記

<重要港湾>

1. 長崎港小ヶ倉柳地区における埠頭拡張工事の早期完成、同港湾設備等の早期整備拡充、臨海道路（小ヶ倉柳戸町線）の整備促進
2. 佐世保港すみ分けの早期実現
3. 福江港港湾機能の拡充促進

要望項目第12号

島原・天草・長島架橋の建設促進について

全商工会議所 共同提案

長崎から熊本、鹿児島にいたる九州西部地域は、九州の代表的な観光地であるとともに、その恵まれた資源を生かしたリゾート地域として、今後、飛躍的に発展する可能性を有している地域であります。

しかしながら、海によって隔てられた3県が島原・天草・長島地域を通じて、産業、経済、観光、文化の交流はもとより交流人口の増加を図り、地方定住を促進し、そのポテンシャルを活かした様々な地域振興プロジェクトの実現を図る上で、「島原・天草・長島架橋」の建設は、その中核として今日、もっとも必要とする交通基盤であり、早期実現が待たれているところであります。

お陰をもちまして平成11年3月には、島原・天草・長島架橋構想を中核とする九州西岸軸構想が「九州地方開発促進計画（第五次）」に明確に位置づけられるとともに、その後、国土交通省による自然条件調査、船舶航行実態調査等が実施されましたことは、県ご当局のご尽力の賜と感謝申し上げます。

つきましては、島原・天草・長島架橋の建設の1日も早い実現を見ますよう、引き続き特段のご尽力を賜りますようお願い致します。

要望項目第13号

大村湾架橋の早期実現について

長崎商工会議所
大村商工会議所
共同提案

県内の道路網、特に、高速自動車道は、関係機関の努力により着実に整備されつつあり、その経済効果は計り知れないものがあります。

こうした中、長崎県の横断軸については、依然として整備が未着手の状態であり、県内の交通網の整備の立ち後れを痛感致しております。

長崎空港開港当時、空港から西彼杵半島に海上大橋を架ける構想が浮上しましたが、国及び県当局の諸般の事情により実現しないまま今日に至っております。

しかしながら、大村湾架橋につきましては、長期的観点から長崎空港を核とする物流・貿易関連事業の推進並びに空港利用客の便宜向上のみならず、長崎県の横断軸として県勢浮揚に極めて重要な事業と存じます。

県ご当局におかれましては、こうした状況をご賢察の上、本事業の早期実現に向け、計画の推進を図られますよう強く要望致します。

佐世保港口架橋建設の推進について

佐世保商工会議所 提案

本県は南北に細長く、しかも離島・半島を有する地形的特性から、交通体系の整備は架橋に依存するところが極めて大なるものがあります。

特に県南～県北の交通時間の短縮は県経済活性化の上からも最重要課題であります。佐世保市の基幹道路は国道35号線が中心であります。交通渋滞を招いているのはご高承のとおりであります。

長崎市～佐世保市間の「1時間交通圏」を目指すために、佐世保市俵ヶ浦半島の佐世保港口と西彼杵半島北部を連結する「佐世保港口架橋建設」は、交通渋滞の緩和のみならず、産業基盤の整備、新しい観光資源としての機能を合わせ持ち、県内における大動脈となることは明らかであり、本架橋建設による地域活性化に計り知れない効果が期待されております。

つきましては、以上の趣旨をご理解賜り、佐世保港口架橋建設の推進について格別のご高配を賜りますよう要望いたします。

要望項目第15号

五島連絡橋の建設促進について

福江商工会議所 提案

離島である五島は、海によって隔てられているという地理的制約から交通基盤整備の遅れ、地域産業の停滞、生活環境の未整備等解決を要する課題が山積しております。

今後、離島の産業経済、観光、文化等の開発振興を図るためには、基幹交通網の整備が不可欠と考えます。

島民の永年の念願であります五島連絡橋（福江～久賀～奈留～若松）の実現により、経済交流が盛んになり移入している生鮮製品の需給体制等、一次産業の活性化にも大きく寄与するとともに若者の定住を促進するなど、未来に夢と希望を与え、豊かな自然を生かした観光産業の振興など、地域の活性化に大きな期待をかけるものであります。

つきましては、これら五島連絡橋建設事業推進の為、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。